

地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	伊東市地域
②都道府県名	静岡県
③計画作成主体	伊東市
④計画期間	平成18年度～22年度
⑤計画の目標	『既存ストックを有効に活用し、「誰もが住みたい 美しいまち 伊東」を実現する。』 『防災性及び健康に配慮した安全・安心な住まいを整備する。』 『住環境整備の調査及び災害に強い住宅や狭あい道路の整備を行うことにより、良好な居住環境の確保と災害に強い街づくりを図る。』
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	伊東市において評価を行い確定(平成23年6月)
⑦事後評価の結果	<p>指標①:「安全性向上の割合」 定義:火災報知器を設置した市営住宅の割合 評価方法:伊東市による調査・集計による。 結果:従前値:0%(18年度)⇒目標値:90%(22年度)⇒実績値:100% 結果の分析:基幹事業として既存市営住宅に住宅用火災警報器設置工事を実施した。これにより既存市営住宅の火災警報器の設置割合が100%となった。</p> <p>指標②:「居住性向上の割合」 定義:公共下水道に接続した市営住宅の割合 評価方法:伊東市による調査・集計による。 結果:従前値:45%(18年度)⇒目標値:65%(22年度)⇒実績値:65% 結果の分析:伊東市における公共下水道供用開始時期にあわせ、市営住宅の下水道接続工事を実施できたので目標値を達成できた。また汚水排水以外の生活排水についても下水道に接続をすることができたので、居住性向上が高まった。</p> <p>指標③:「利便性向上の割合」 定義:市営住宅の管理戸数に対する併設駐車場台数の割合 評価方法:伊東市による調査・集計による。 結果:従前値:20%(18年度)⇒目標値:25%(22年度)⇒実績値:25% 結果の分析:解体住宅等の跡地を最大限利用し、目標値の駐車場台数を整備できたことから、市街地から離れた場所に設置されている市営住宅についての利便性が向上した。</p>
⑧結果の公表方法	伊東市ホームページにて公表をおこなう。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	市営既存住宅のストック総合改善事業を計画・実施することで、セーフティネットとしての役割を担う市営住宅の質の向上を実現してゆく。
⑩その他	(特記すべき事項があれば記載)

※この事後評価は別添の地域住宅計画について行ったものである。